

鴨川市まちづくりアンケート調査結果 < 概要版 >

目 次

第1章 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査対象および調査方法	1
3. 回収の結果	1
4. 集計等に関する留意事項	1

第2章 調査結果

1. 回答者の属性	3
2. 居住状況と定住意向について	5
3. 日常生活圏について	6
4. 鴨川市の取り組みについて	9
5. 自立した行財政運営について	13
6. 鴨川市のこれからのまちづくりについて	15

1. 調査の目的

- 平成 18 年に策定された総合計画が平成 27 年度に満了を迎えることから、平成 28 年度を初年度とする次期総合計画を策定するとともに、平成 16 年に策定された都市計画マスタープランについても見直しを進めていくにあたり、社会経済状況の変化、地方分権の進展、東日本大震災の発生など、本市を取り巻く環境の変化を踏まえた市民の意識調査を行い、市民のまちづくりに対する意識やニーズを把握・集約し、次期総合計画及び都市計画マスタープランに反映させるための基礎資料とすることを目的として実施しました。

2. 調査対象および調査方法

- 【調査地域】 鴨川市全域
- 【調査対象】 鴨川市在住の 16 歳以上の市民 3,000 人
- 【抽出方法】 住民基本台帳より無作為抽出
- 【調査方法】 郵送による配布・回収
- 【調査期間】 平成 25 年 11 月 7 日～12 月 9 日(12 月 27 日までの回収票を有効として集計)

3. 回収の結果

- 【配布数】 3,000 票
- 【回収数】 1,225 票
- 【回収率】 40.8% ※1,225 (回収数) /3,000 (配布数)
- 【有効配布数】 2,974 票 ※転出 5 票・宛先不明 21 票を除いた票数
- 【有効回収数】 1,218 票 ※白票 7 票を除いた票数
- 【有効回収率】 41.0% ※1,218 (有効回収数) /2,974 (有効配布数)

4. 集計等に関する留意事項

- 設問に指定した回答数を超えて回答があった場合は、無回答扱いとしました。
- 集計結果は、比率を全て百分率 (%) で表し、小数点第 2 位以下を四捨五入して表示しています。そのため、比率の合計が 100.0% とならない場合があります。
- 集計結果の表やグラフでは、スペースの都合上、回答の選択肢の言葉を短縮して表現している場合があります。

- 満足度については、評価点（回答の点数化）により評価を行っています。評価点の算出方法は、以下のとおりです。

【満足度の評価点の計算方法】

$$\text{評価点} = \frac{(2 \times \text{満足の票数} + 1 \times \text{やや満足の票数} + 0 \times \text{どちらともいえない} - 1 \times \text{やや不満の票数} - 2 \times \text{不満の票数})}{\text{回答票数の合計 (無回答を除く)}}$$

満足：+2点	やや満足：+1点	どちらともいえない：+0点
不満：-2点	やや不満：-1点	

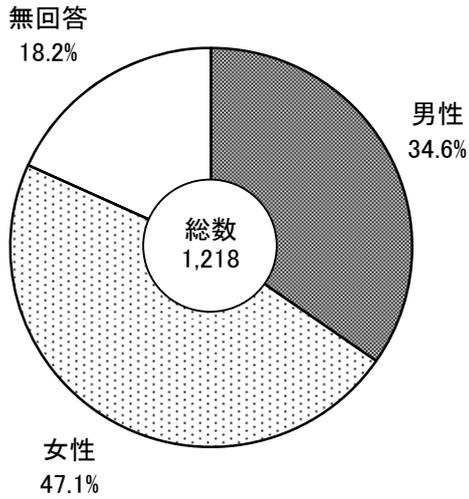
評価点がプラスのものは、総じて満足度が高いと考えられ、マイナスのものは、満足度が低いと考えることができます。

■ 居住地区図(参考)

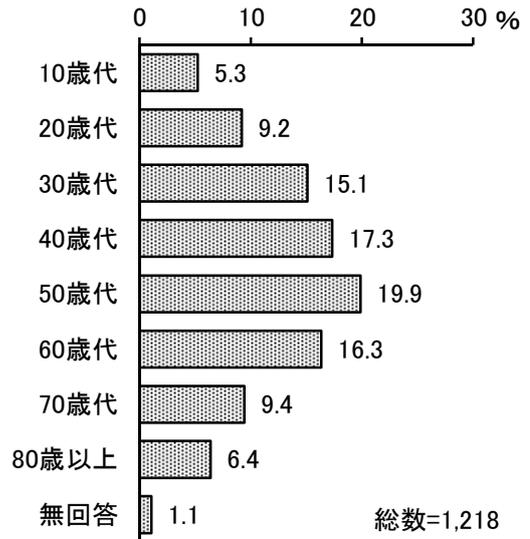


1. 回答者の属性

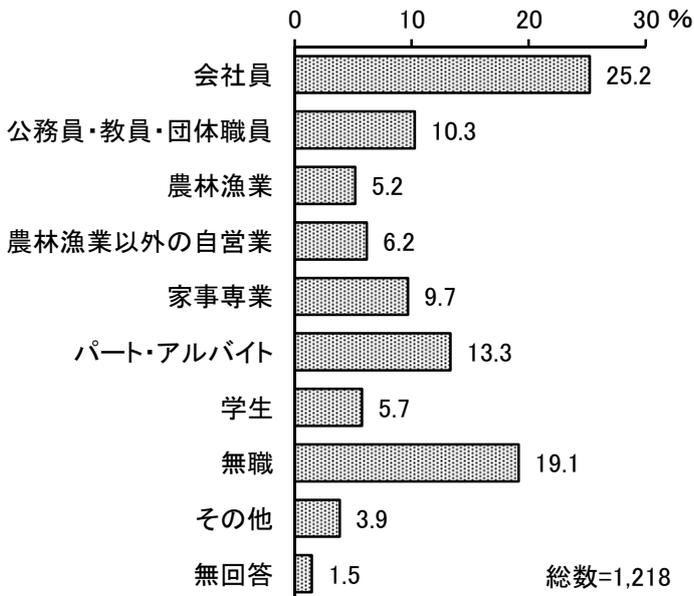
(1) 性別



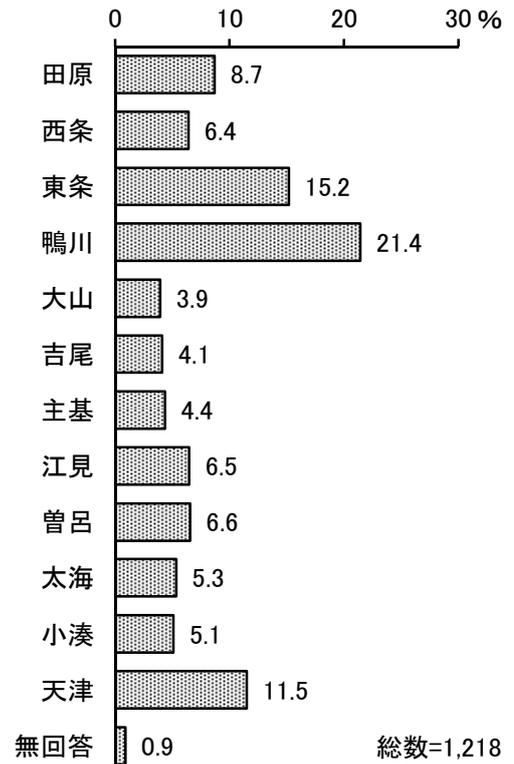
(2) 年齢



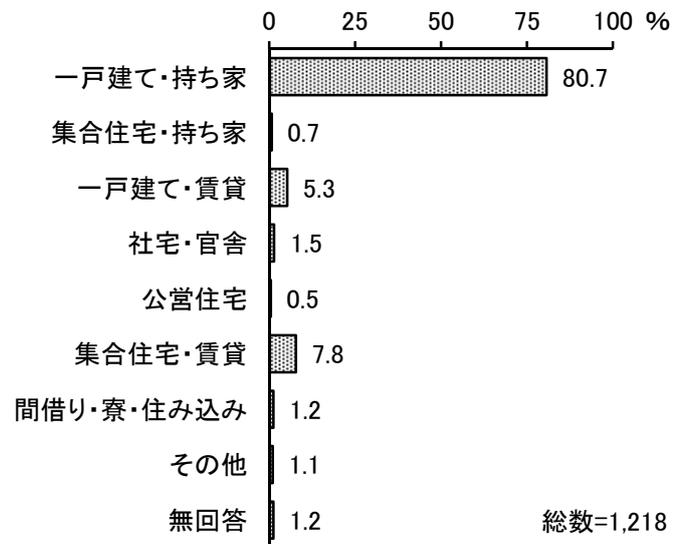
(3) 職業



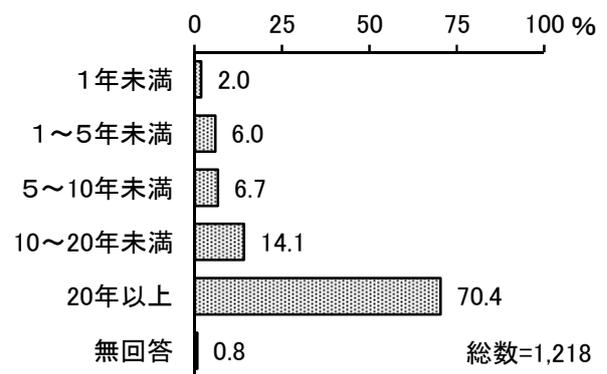
(4) 居住地区



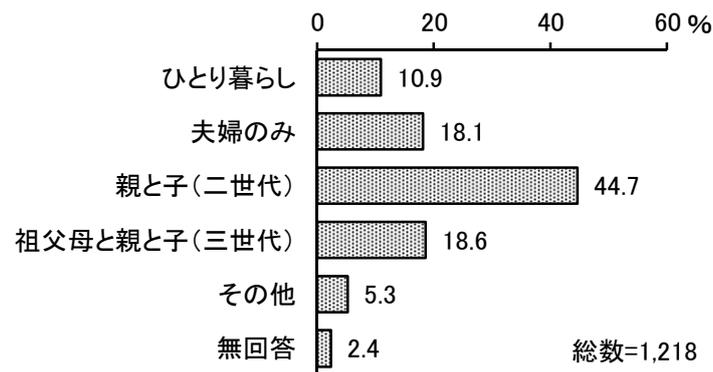
(5) 居住形態



(6) 居住年数



(7) 家族構成

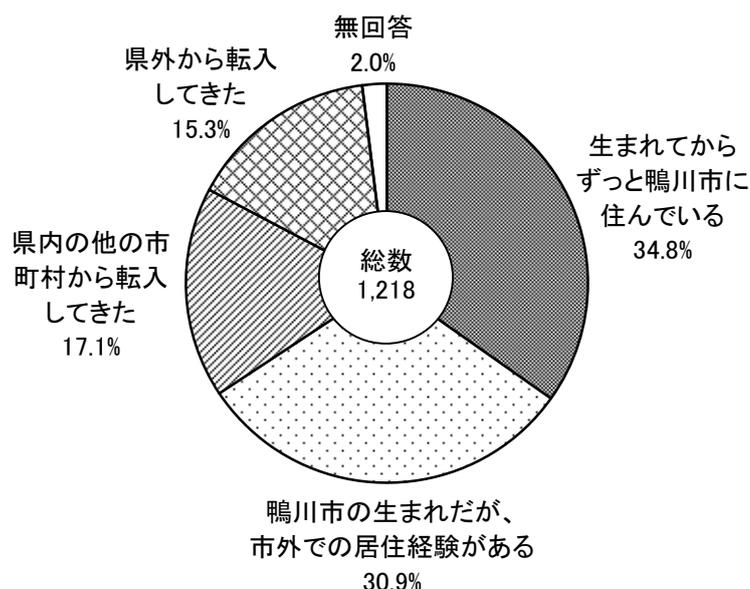


2. 居住状況と定住意向について

(1) 居住状況

問 居住状況についてお聞きします。あなたは、どのようにして鴨川市に住むようになりましたか。当てはまるものを1つ選んで、番号に○印を付けてください。

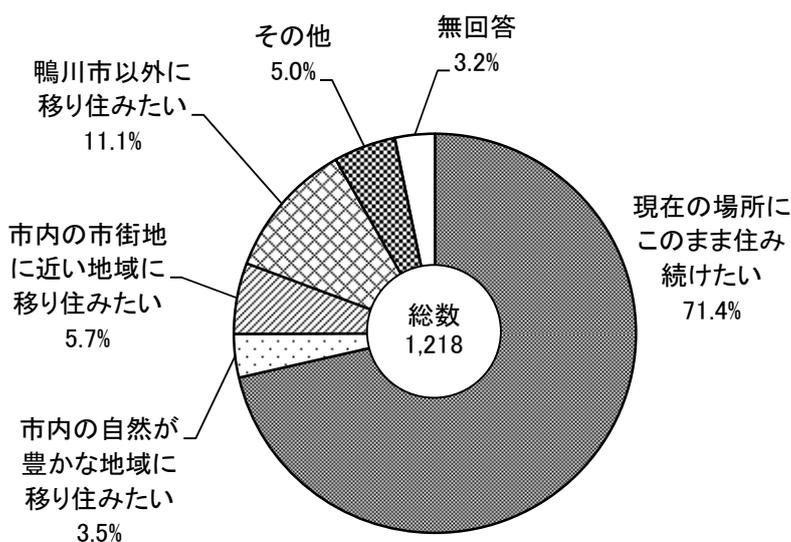
- 鴨川市に住むようになった理由は、「生まれてからずっと鴨川市に住んでいる」が34.8%で最も高くなっています。
- 一方、「県内の他の市町村から転入してきた」(17.1%)、「県外から転入してきた」(15.3%)を加えた、鴨川市に転入してきた回答者の合計は、32.4%となっています。



(2) 定住意向

問 将来の定住意向について、お聞きします。お考えに近いものを1つ選んで、番号に○印を付けてください。

- 将来の定住意向は、「現在の場所にこのまま住みたい」が71.4%で大半を占めています。
- また、「市内の自然が豊かな地域に移り住みたい」(3.5%)と「市内の市街地に近い地域に移り住みたい」(5.7%)を加えた、市内の別の地域に移り住みたい回答者の合計は、9.2%となっています。
- 一方、市外への転居を希望する「鴨川市以外に移り住みたい」は11.1%となっています。



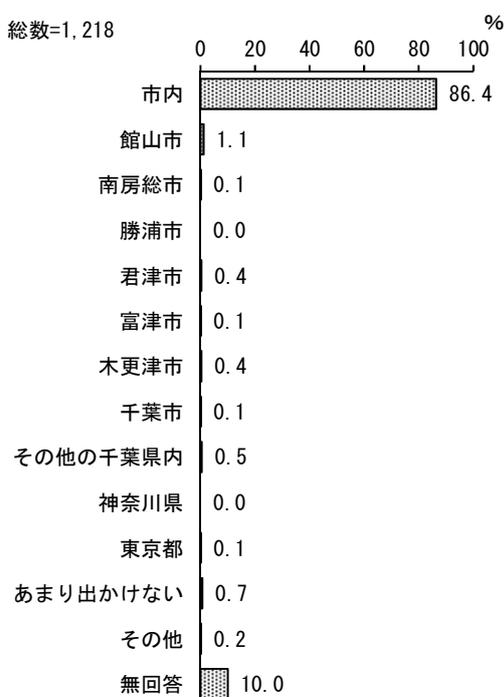
3. 日常生活圏について

問 あなたの日常の生活について、お聞きします。

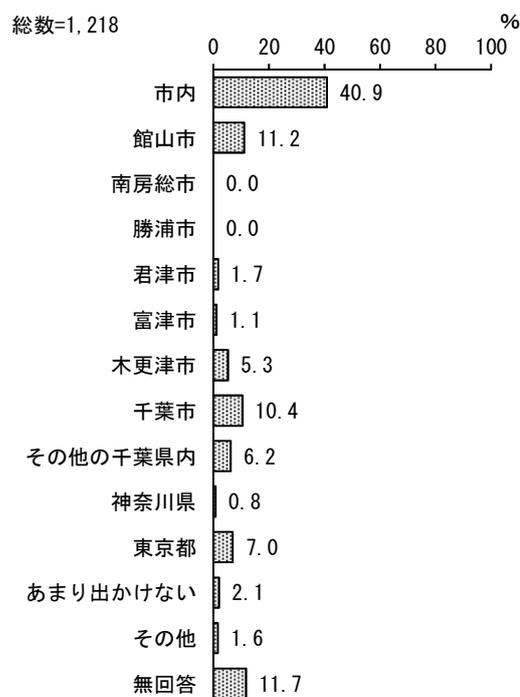
次の(ア)～(コ)の活動の主な「行き先」について、該当するものを下表からそれぞれ1つ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 日常生活に関わる活動の行き先のうち、買物については、【(ア) 食料品や日用雑貨などの買物】の「市内」が86.4%と高くなっていますが、【(イ) 衣料品や贈答品などの買物】の「市内」は40.9%となっており、「館山市」(11.2%)、「千葉市」(10.4%)などへ流出する傾向がみられます。
- その他、【(ウ) 電気製品, 家具, 自動車などの購入】、【(エ) 通勤・通学】、【(オ) 病院などへの通院】、【(カ) 日常的な外食】、【(ク) スポーツ・レクリエーション活動】、【(ケ) 習い事・サークル活動】では、「市内」がその他の行き先と比較して、突出して高くなっており、特に【(オ) 病院などへの通院】では、「市内」が84.6%となっています。
- 一方、【(キ) 映画・音楽・演劇などの鑑賞】では、「千葉市」が20.4%、「東京都」が14.9%となっており、「市内」(3.4%)より高くなっています。また、【(コ) 休日などの休暇】では、「市内」が23.2%となっていますが、「その他の千葉県内」が12.7%、「東京都」が8.6%と相対的に高くなっています。

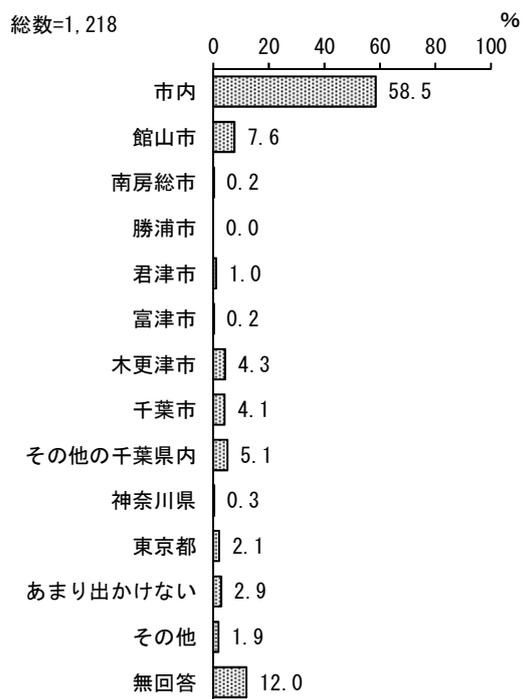
【(ア) 食料品や日用雑貨などの買物】



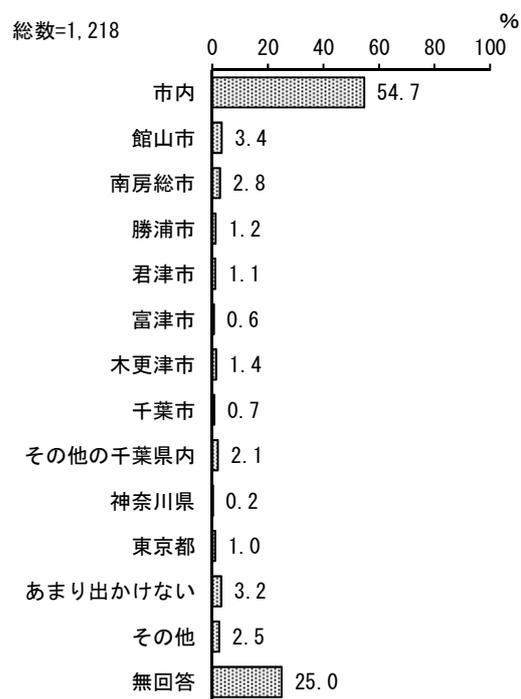
【(イ) 衣料品や贈答品などの買物】



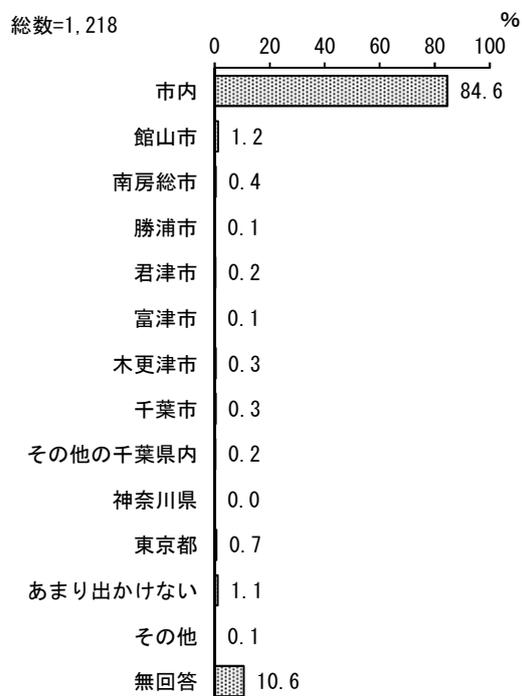
【(ウ) 電気製品, 家具, 自動車などの購入】



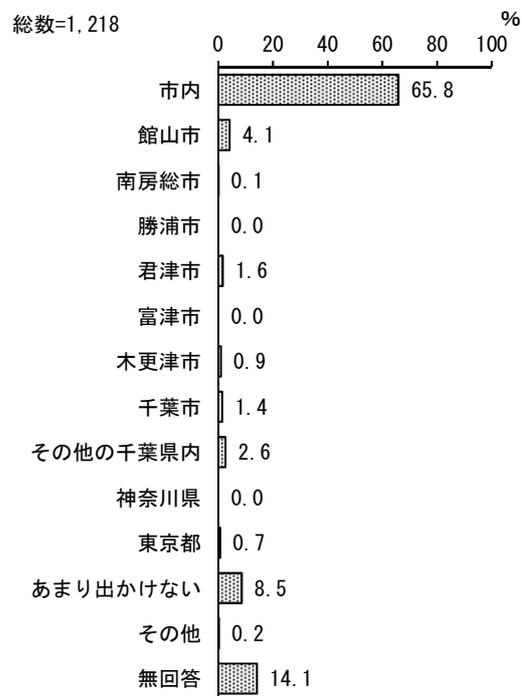
【(エ) 通勤・通学】



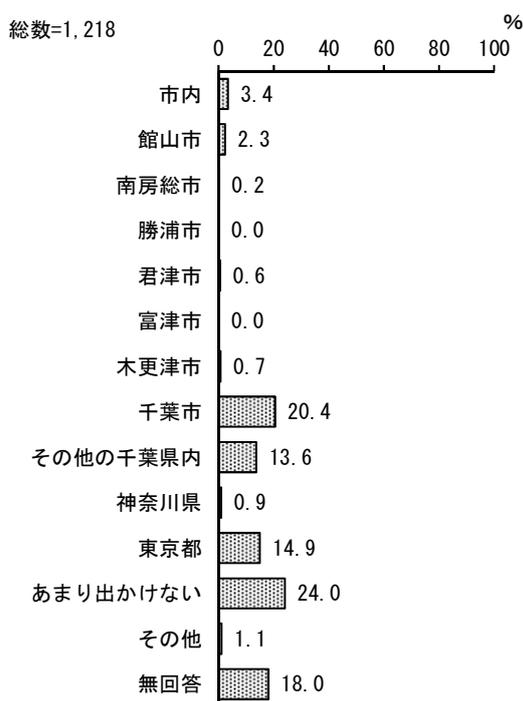
【(オ) 病院などへの通院】



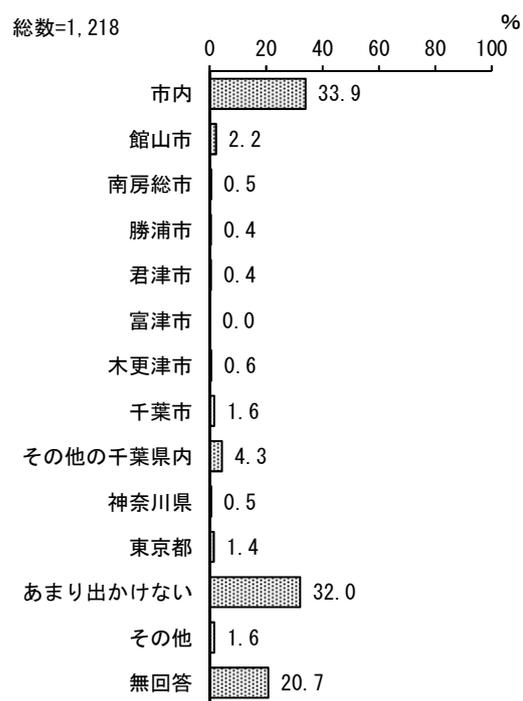
【(カ) 日常的な外食】



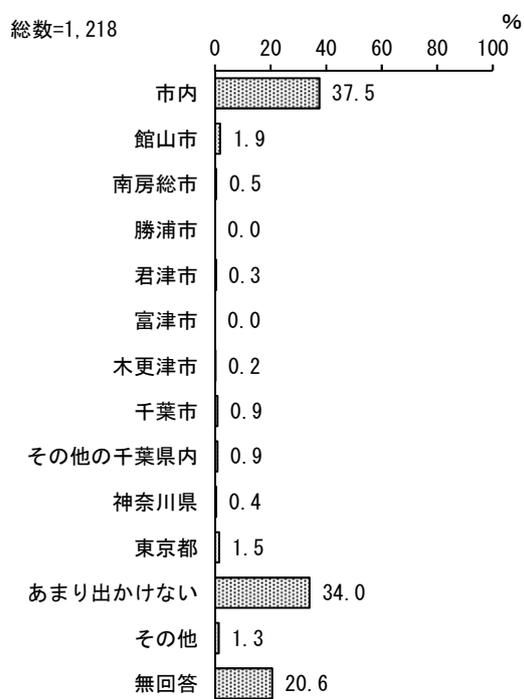
【(キ) 映画・音楽・演劇などの鑑賞】



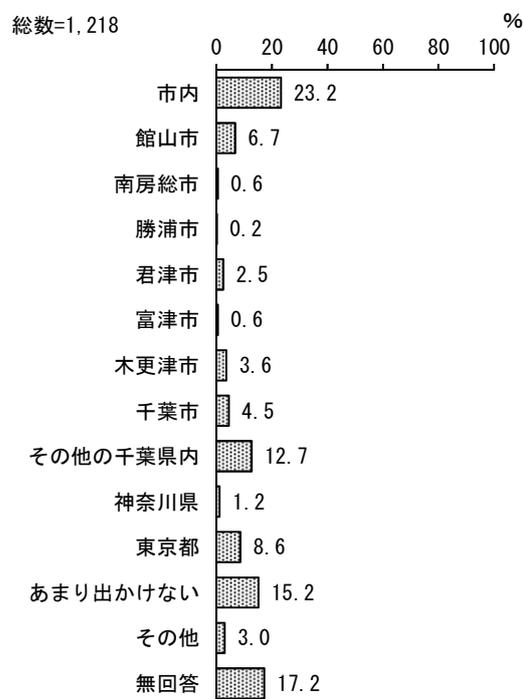
【(ク) スポーツ・レクリエーション活動】



【(ケ) 習い事・サークル活動】



【(コ) 休日などの休暇】



4. 鴨川市の取り組みについて

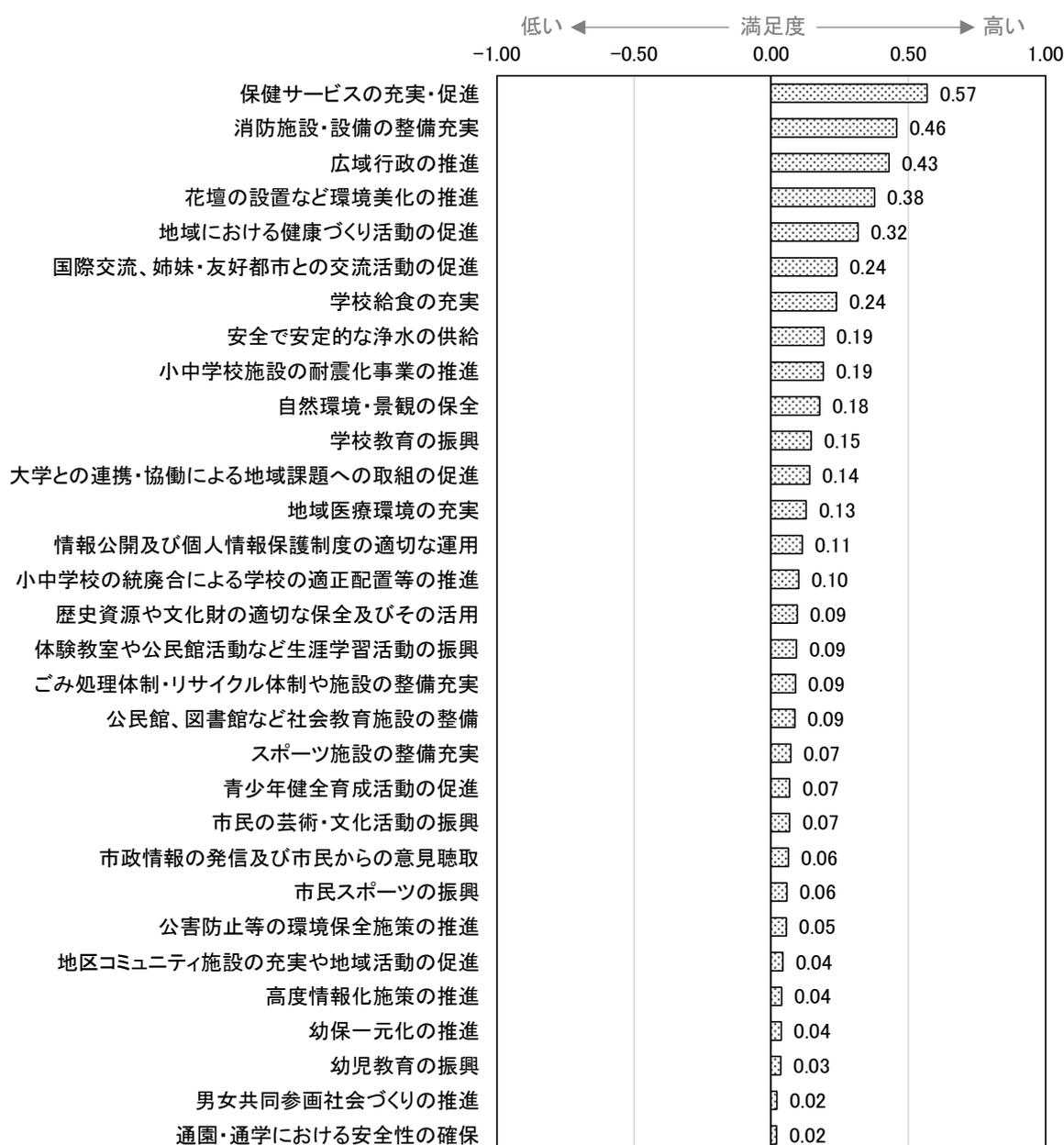
(1) 取り組みの満足度

問 鴨川市の取り組みについておたずねします。

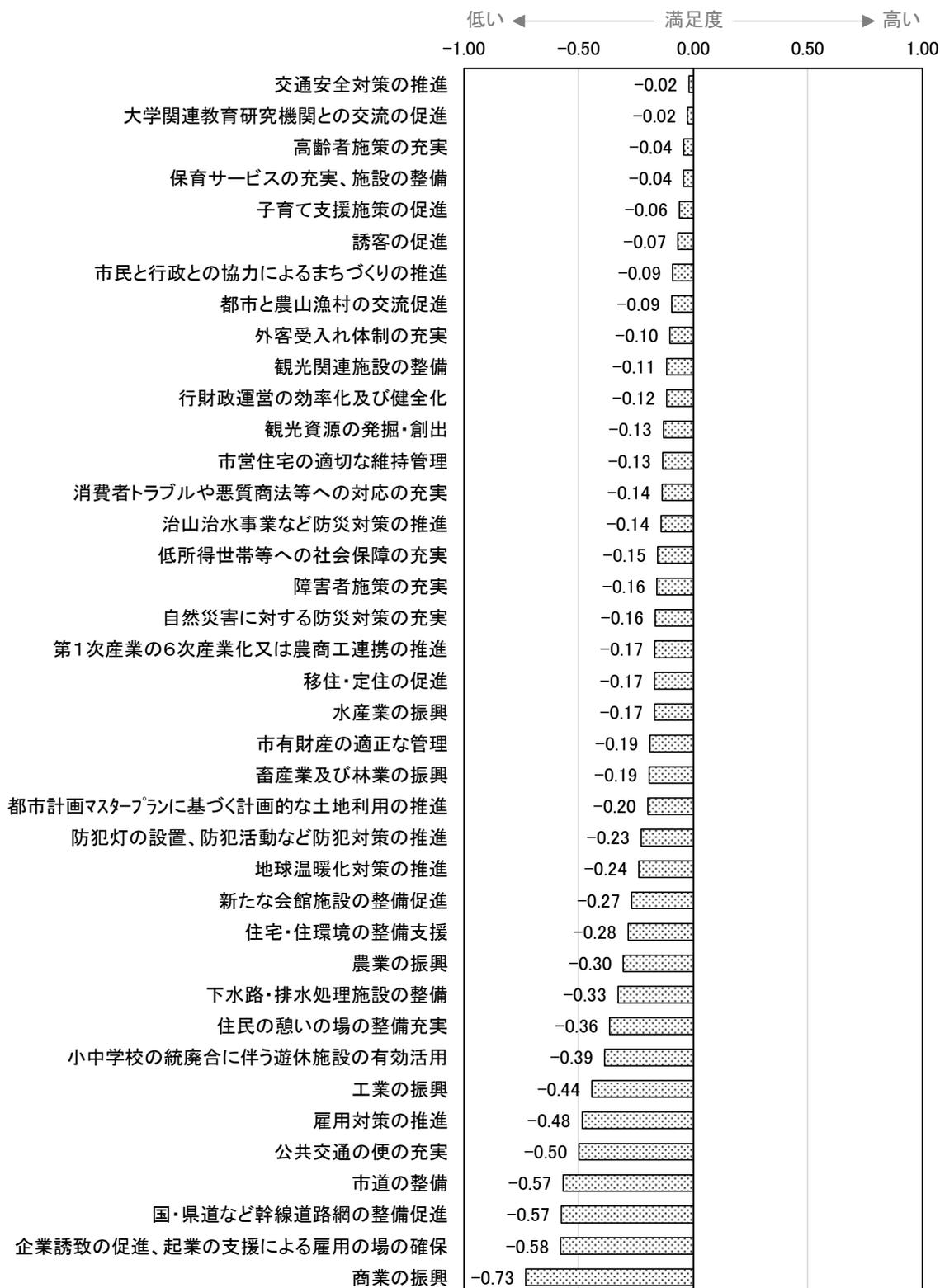
あなたは、鴨川市の各種施策の現状について、どの程度満足していますか。

最もお考えに近いものを1つずつ選んで、番号に○印を付けてください

- 市の取り組みの中で満足度の評価点が高いものをみると、「保健サービスの充実・促進」が0.57で最も高く、次いで「消防施設・設備の整備充実」の0.46、「広域行政の推進」の0.43、「花壇の設置など環境美化の推進」の0.38、「地域における健康づくり活動の促進」の0.32の順となっています。



- 一方、満足度の評価点が低い取り組みは、「商業の振興」が-0.73 で最も低く、次いで「企業誘致の促進、起業の支援による雇用の場の確保」の-0.58、「国・県道など幹線道路網の整備促進」の-0.57、「市道の整備」の-0.57、「公共交通の便の充実」の-0.50 の順となっています。



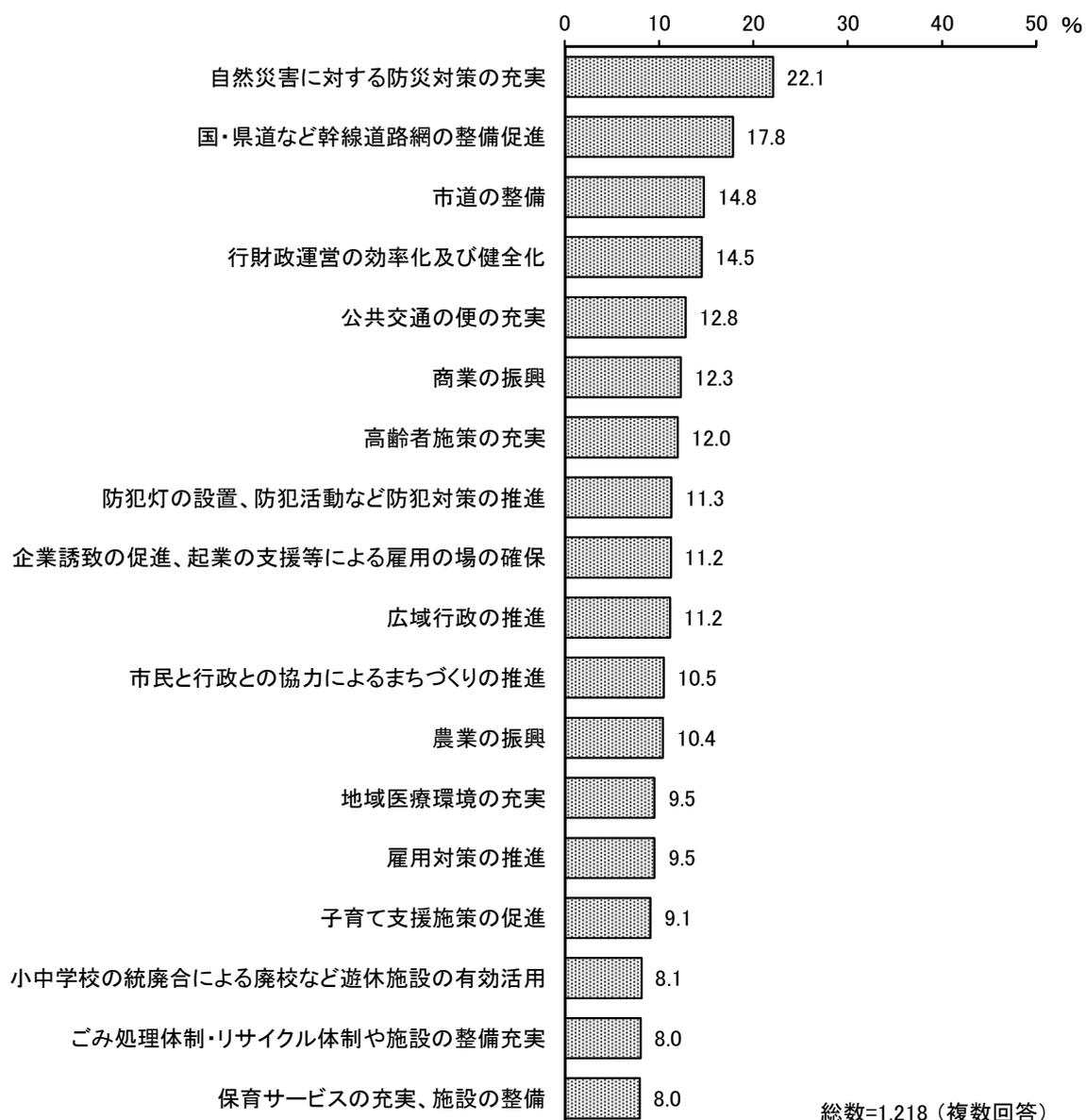
(2) 取り組みの優先度

問 鴨川市の取り組みについておたずねします。

あなたは、今後のまちづくりを進めていくうえで、特にどのような施策に予算を配分し、優先的に進めていくべきと思いますか。

最もお考えに近いものを5つまで選んで、番号に○印を付けてください

- 今後優先的に進めていくべき取り組みは、「自然災害に対する防災対策の充実」が 22.1%と最も高く、次いで「国・県道など幹線道路網の整備促進」の 17.8%、「市道の整備」の 14.8%、「行財政運営の効率化及び健全化」の 14.5%の順となっています。
- 優先度の上位となっている「国・県道など幹線道路網の整備促進」や「市道の整備」は、前項の『満足度』の評価点が低い取り組みとなっています。



総数=1,218 (複数回答)

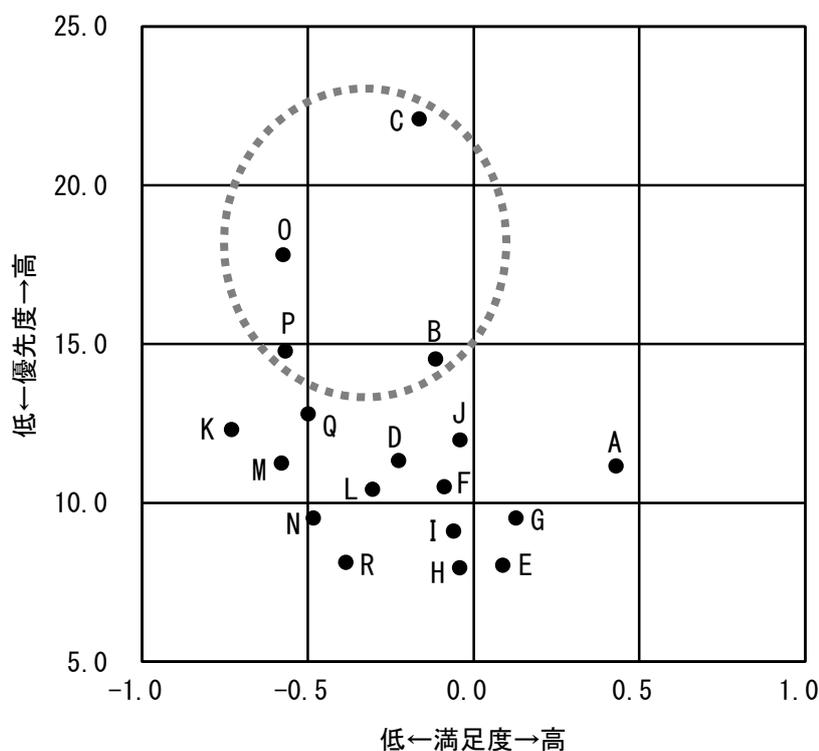
※8.0%以上のみ表示

(3) 取り組みの満足度と優先度の関係

- 今後優先的に進めていくべき取り組みのうち、上位（8.0%以上）の取り組みについて満足度の評価点をみると、満足度がプラス評価の取り組みは「A. 広域行政の推進」、「G. 地域医療環境の充実」、「E. ごみ処理体制・リサイクル体制や施設の整備充実」の3つのみで、それ以外の取り組みは満足度がマイナス評価となっています。
- 「C. 自然災害に対する防災対策の充実」、「O. 国・県道など幹線道路網の整備促進」、「P. 市道の整備」、「B. 行財政運営の効率化及び健全化」など、満足度が低く、優先度が高い取り組みについては、より緊急性の高い取り組みと考えられます。

【今後優先的に進めていくべき市の取り組み(上位のものを抽出)】

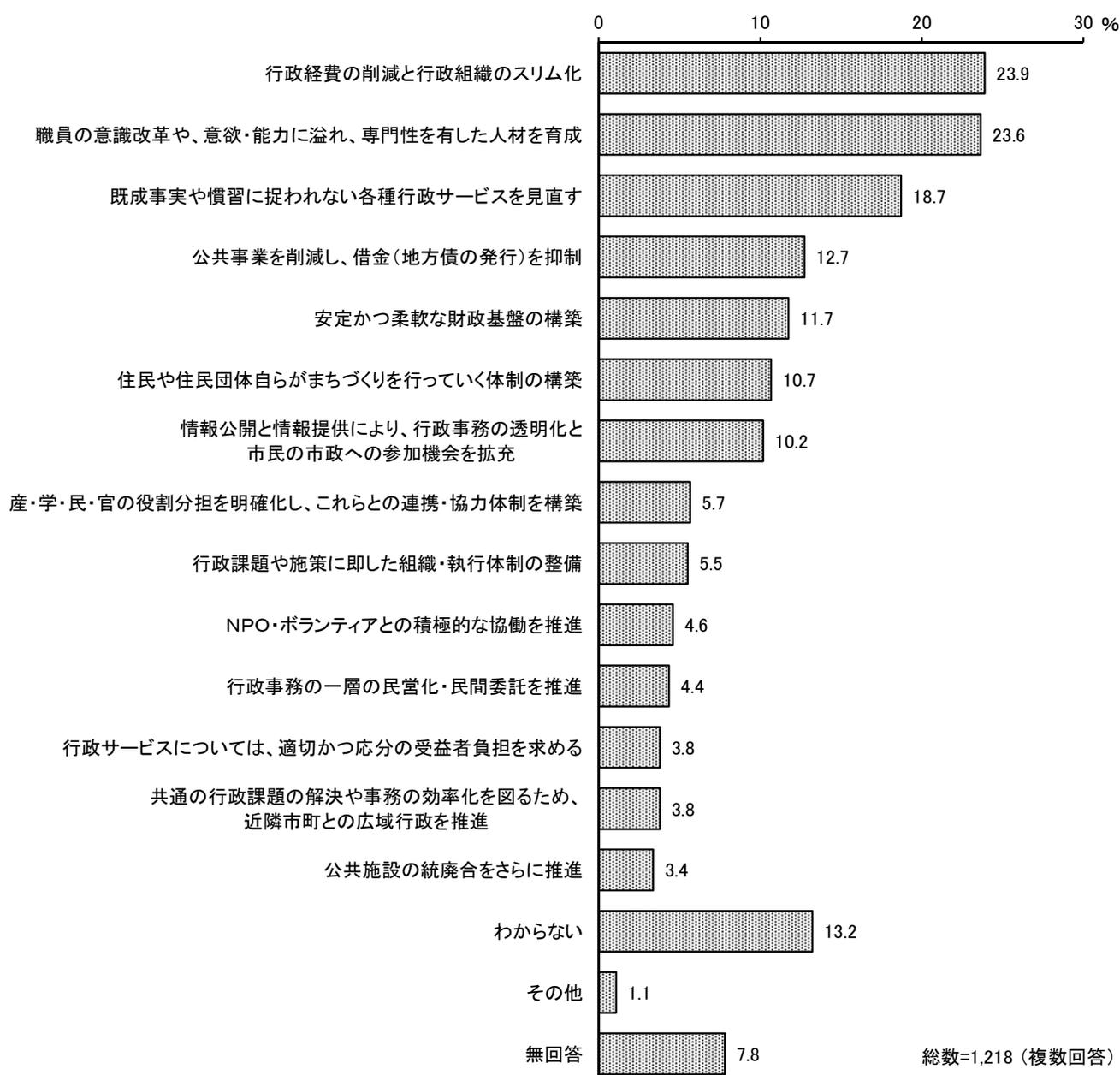
A. 広域行政の推進	J. 高齢者施策の充実
B. 行財政運営の効率化及び健全化	K. 商業の振興
C. 自然災害に対する防災対策の充実	L. 農業の振興
D. 防犯灯の設置、防犯活動など防犯対策の推進	M. 企業誘致の促進、起業の支援等による雇用の場の確保
E. ごみ処理体制・リサイクル体制や施設の整備充実	N. 雇用対策の推進
F. 市民と行政との協力によるまちづくりの推進	O. 国・県道など幹線道路網の整備促進
G. 地域医療環境の充実	P. 市道の整備
H. 保育サービスの充実、施設の整備	Q. 公共交通の便の充実
I. 子育て支援施策の促進	R. 小中学校の統廃合による廃校など遊休施設の有効活用



5. 自立した行財政運営について

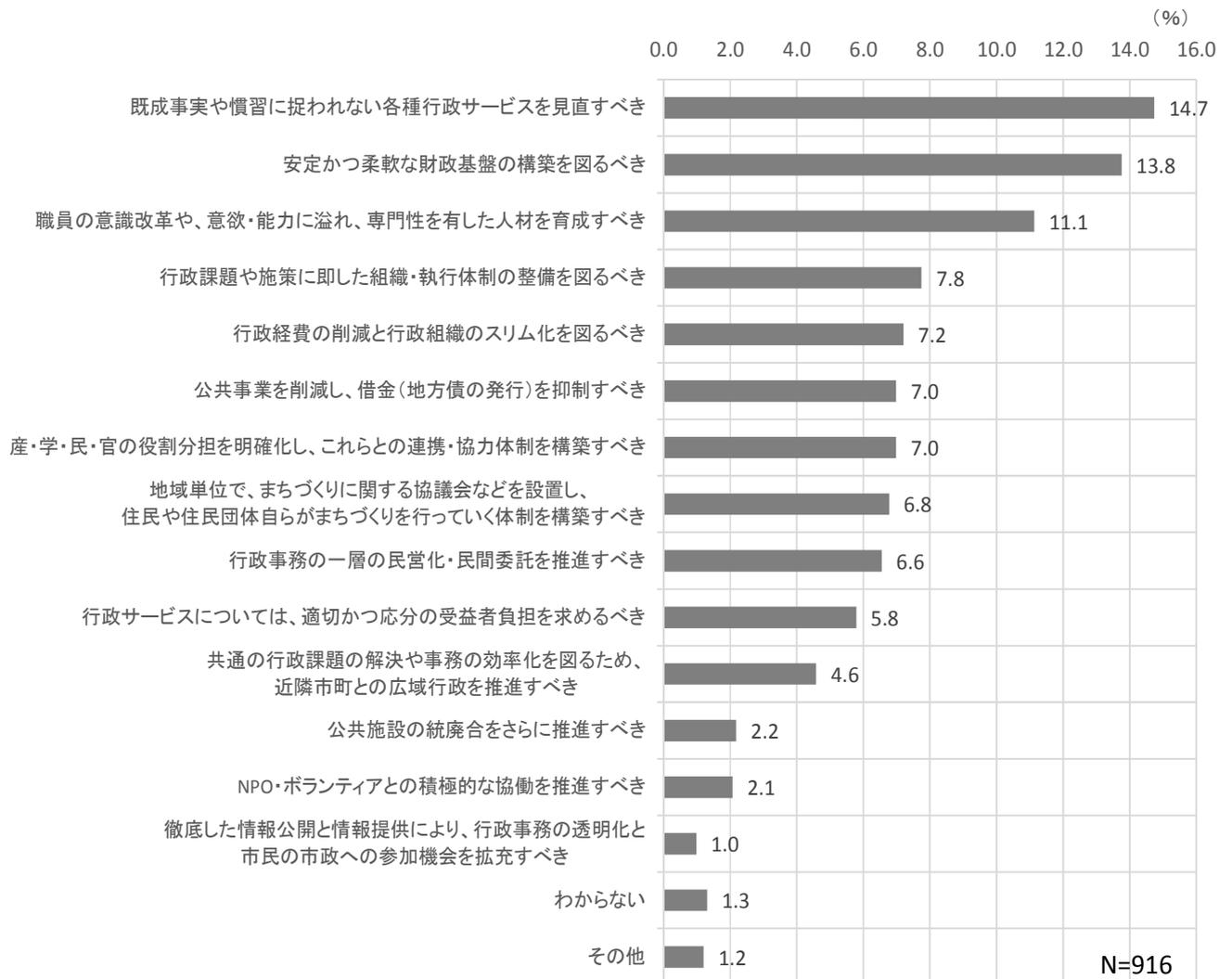
問 あなたは、鴨川市が自立した行財政運営を進めていくためには、何が重要とお考えですか。最もお考えに近いものを2つまで選んで、番号に○印を付けてください。

- 自立した行財政運営を進めていくために重要なことは、「行政経費の削減と行政組織のスリム化」の23.9%、「職員の意識改革や、意欲・能力に溢れ、専門性を有した人材を育成」の23.6%が高くなっており、次いで「既成事実や慣習に捉われない各種行政サービスを見直す」の18.7%の順となっています。



《鴨川市職員アンケート調査結果から抜粋》

- 「既成事実や慣習に捉われない各種行政サービスを見直すべき」が14.7%で最も高くなっています。
- 次いで「安定かつ柔軟な財政基盤の構築を図るべき」が13.8%、「職員の意識改革や、意欲・能力に溢れ、専門性を有した人材を育成すべき」が11.1%となっています。
- 「その他」としては「議員定数の削減」、「人口増を前提とした行政サービスのコンパクト化、事業の削減」、「職員の意識改革・モチベーションアップ・厳選採用」、「若者の雇用の確保」、「現場意見の聴取」、「住民の意識改革(目先の要望ではなく大局的観点を養う)」などが挙げられました。

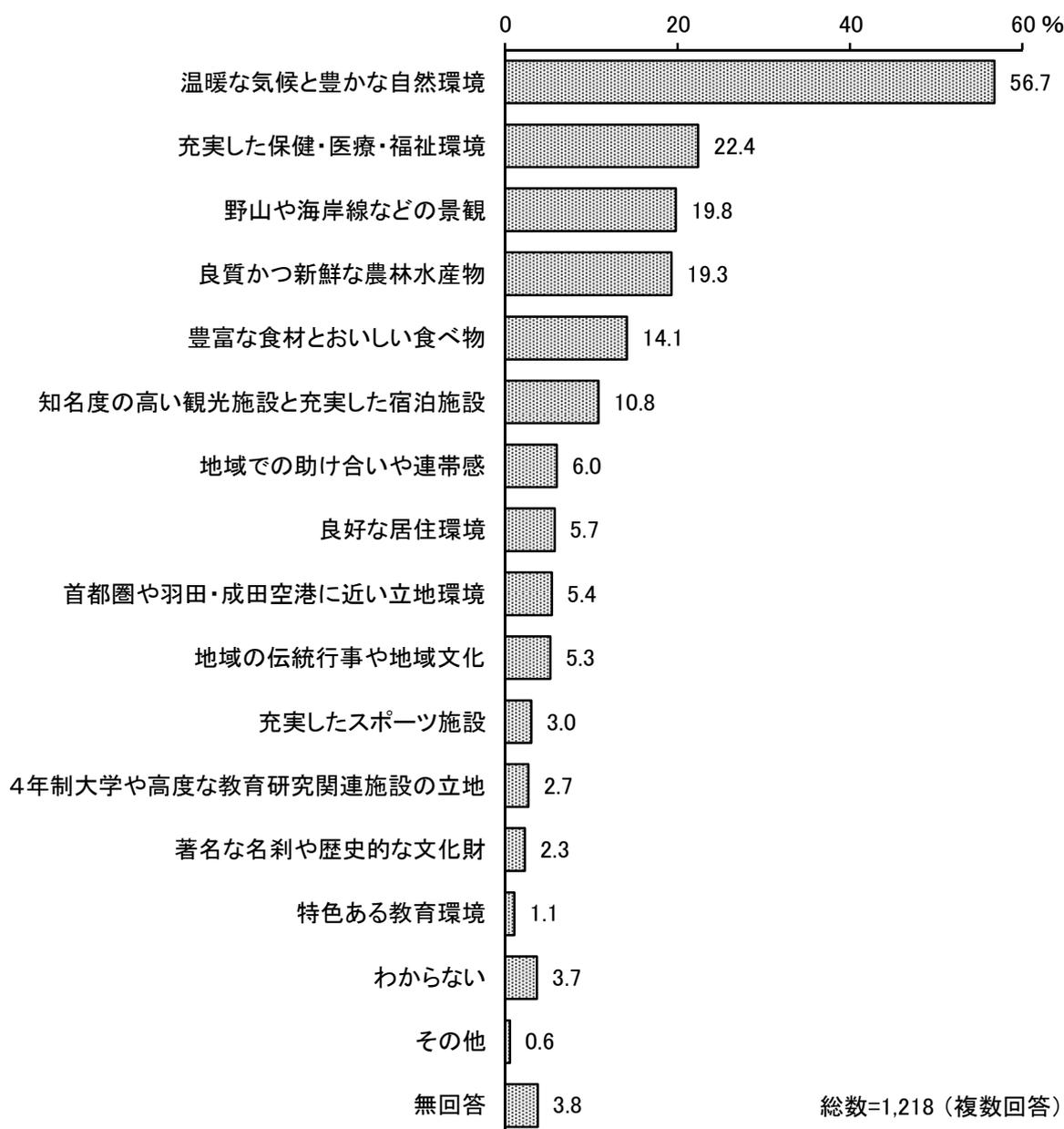


6. 鴨川市のこれからのまちづくりについて

(1) 市の魅力・誇り

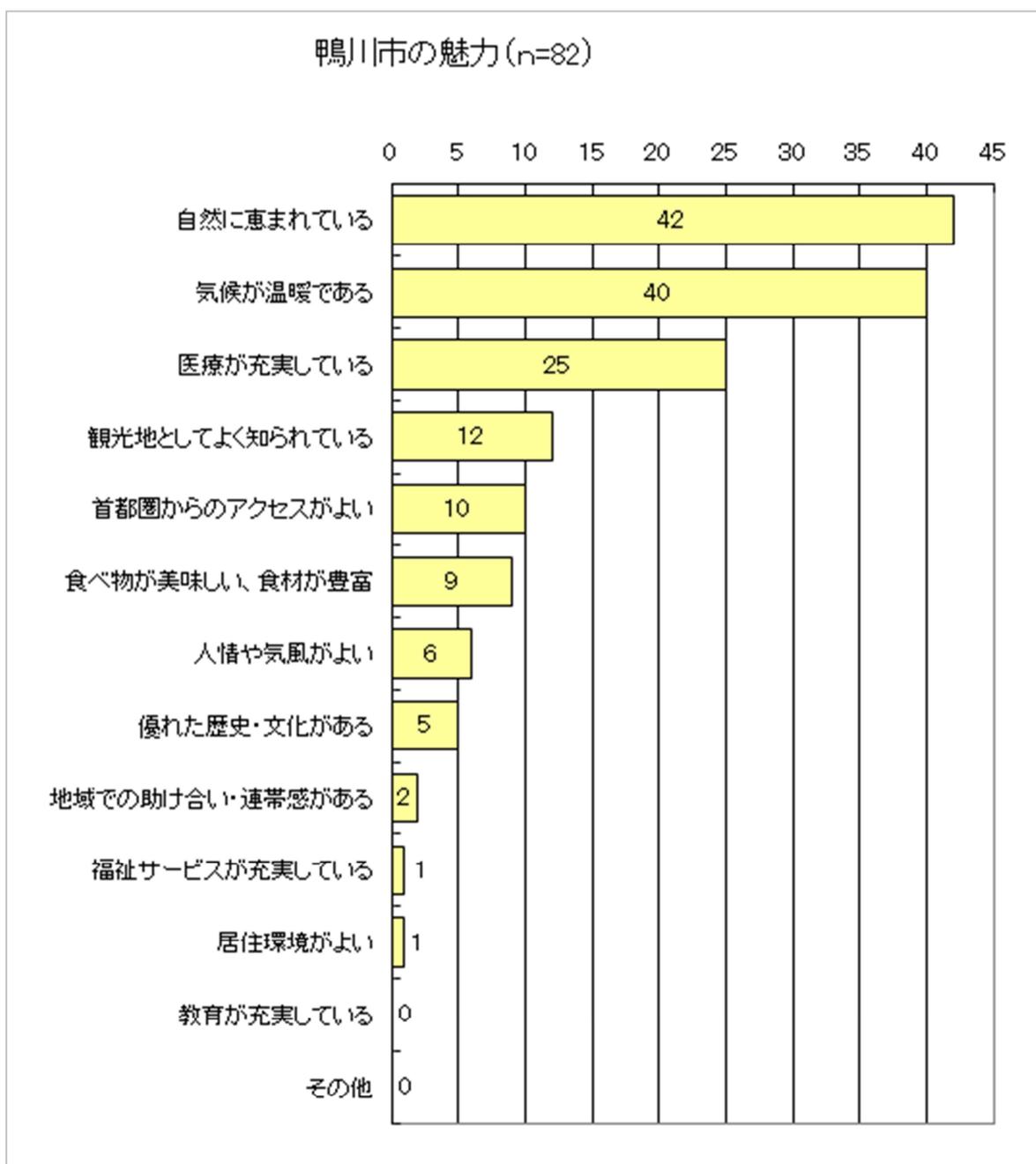
問 あなたが鴨川市の魅力や誇りと感じ、また、これからのまちづくりに活かしていくべき持ち味（特色）は何だと考えますか。
お考えに近いものを2つまで選んで、番号に○印を付けてください。

- これからのまちづくりに活かしていくべき本市の魅力・誇りとして挙げられたのは、「温暖な気候と豊かな自然環境」が 56.7%と最も高く、次いで「充実した保健・医療・福祉環境」の 22.4%、「野山や海岸線などの景観」の 19.8%、「良質かつ新鮮な農林水産物」の 19.3%の順となっています。



《鴨川ふるさと会会員アンケート調査結果から抜粋》

- 「自然に恵まれている」の42件、「気候が温暖である」の40件が群を抜いている。次いで「医療が充実している」の25件、「観光地としてよく知られている」の12件の順となっています。



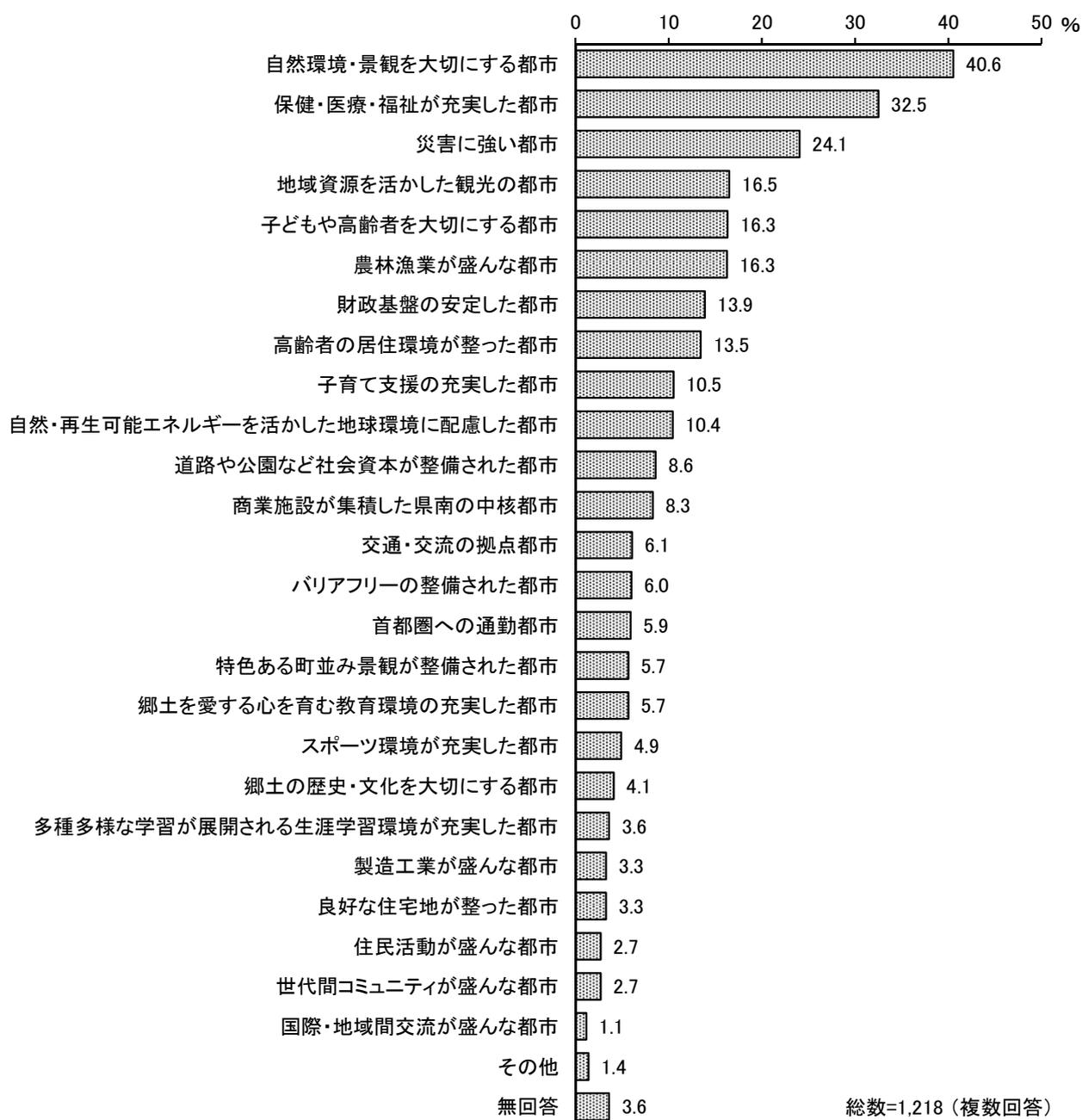
※鴨川ふるさと会

首都圏及びその周辺に在住する鴨川市をふるさととする人並びにゆかりの人で組織される団体。

(2)市の将来イメージ

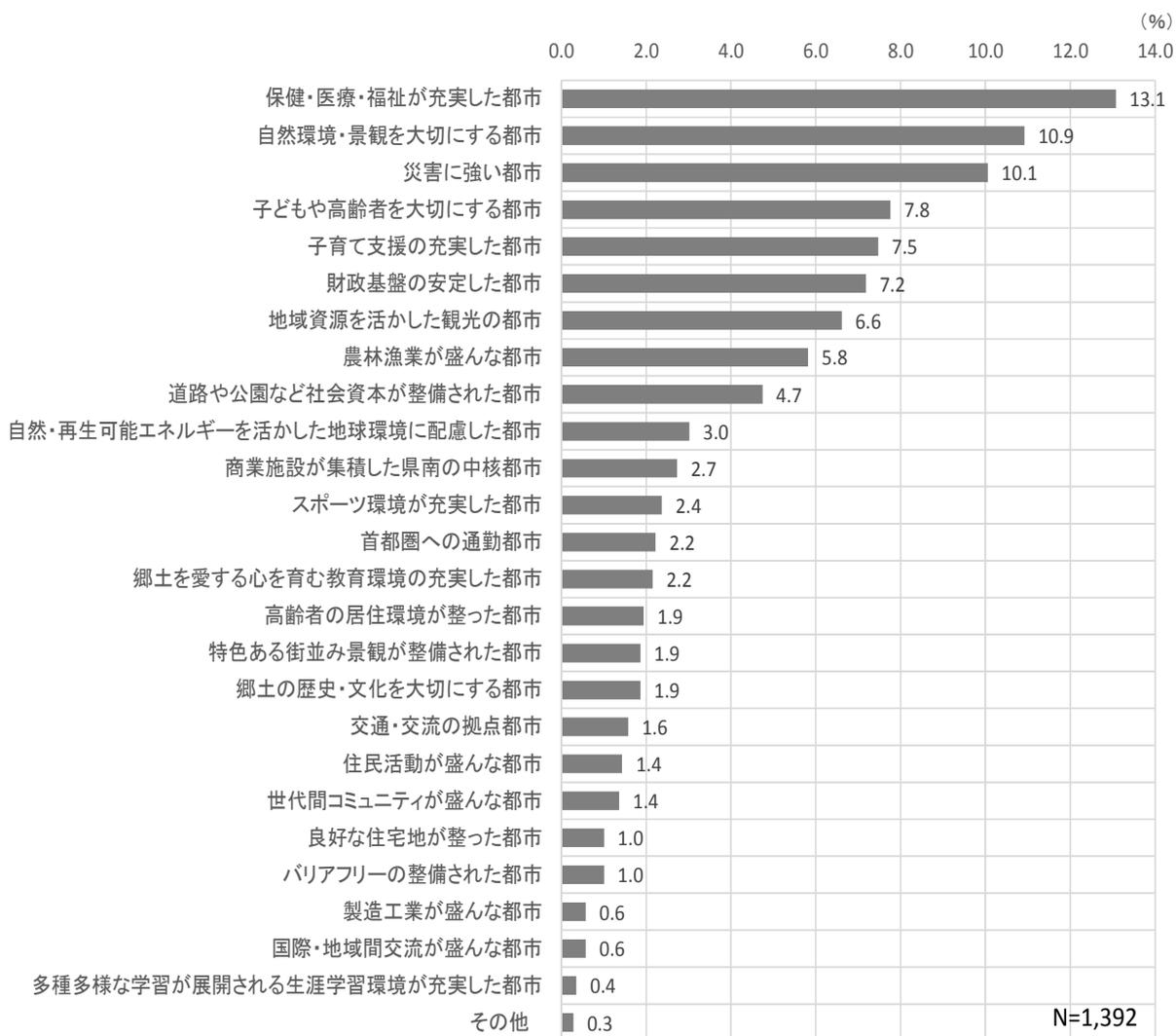
問 鴨川市は、将来どのような都市になったら良いと思われますか。
お考えに近いイメージを3つまで選んで、番号に○印を付けてください。

- 本市の将来のイメージは、「自然環境・景観を大切にする都市」が40.6%と最も高く、次いで「保健・医療・福祉が充実した都市」の32.5%、「災害に強い都市」の24.1%の順となっています。
- 前項の『市の魅力・誇り』で上位となっている「温暖な気候と豊かな自然環境」や「充実した保健・医療・福祉環境」と関連する将来のイメージが、上位となっています。



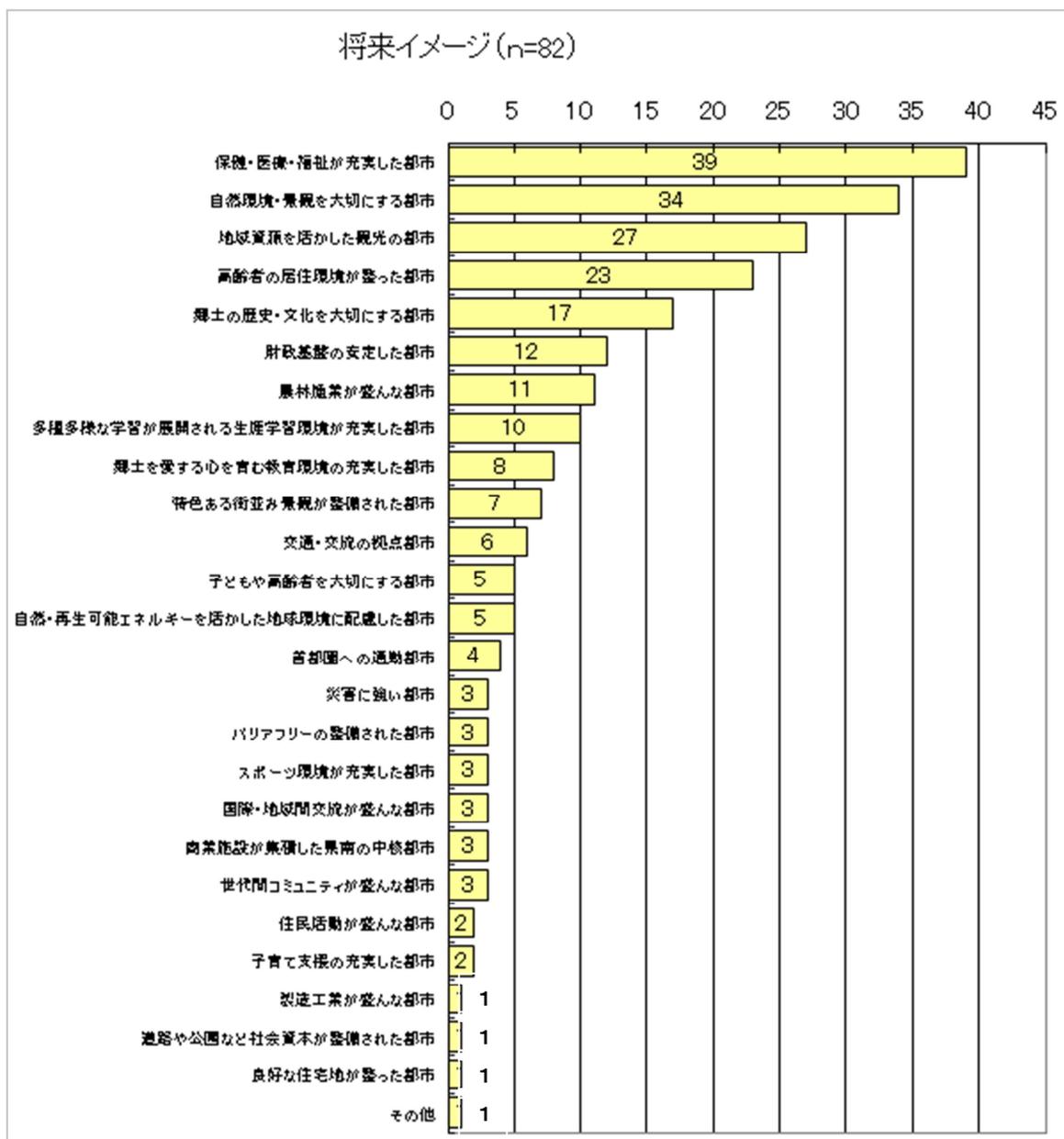
《鴨川市職員アンケート調査結果から抜粋》

- 「保健・医療・福祉が充実した都市」が13.1%で最も高くなっています。
- 次いで「自然環境・景観を大切にする都市」が、10.9%、「災害に強い都市」が10.1%となっています。
- 「その他」としては、「若い人達の雇用の充実した都市」をはじめ、企業誘致による若者の雇用や子育ての充実などが挙げられました。



《鴨川ふるさと会会員アンケート調査結果から抜粋》

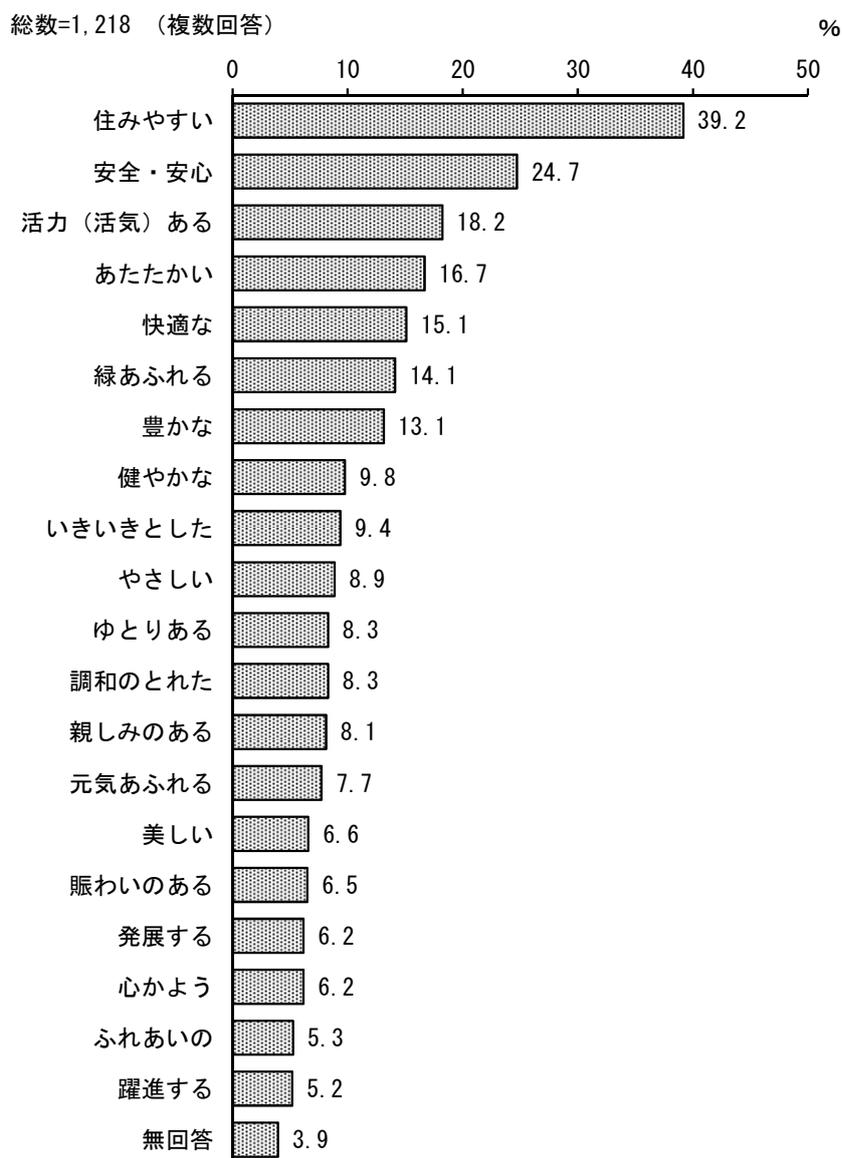
- 「保健・医療・福祉が充実した都市」の39件が最も多く、「自然環境・景観を大切に
する都市」の34件、「地域資源を活かした観光の都市」の27件、「高齢者の居住環境が整った都
市」の23件の順となっています。



(3) 将来像にふさわしいキーワード

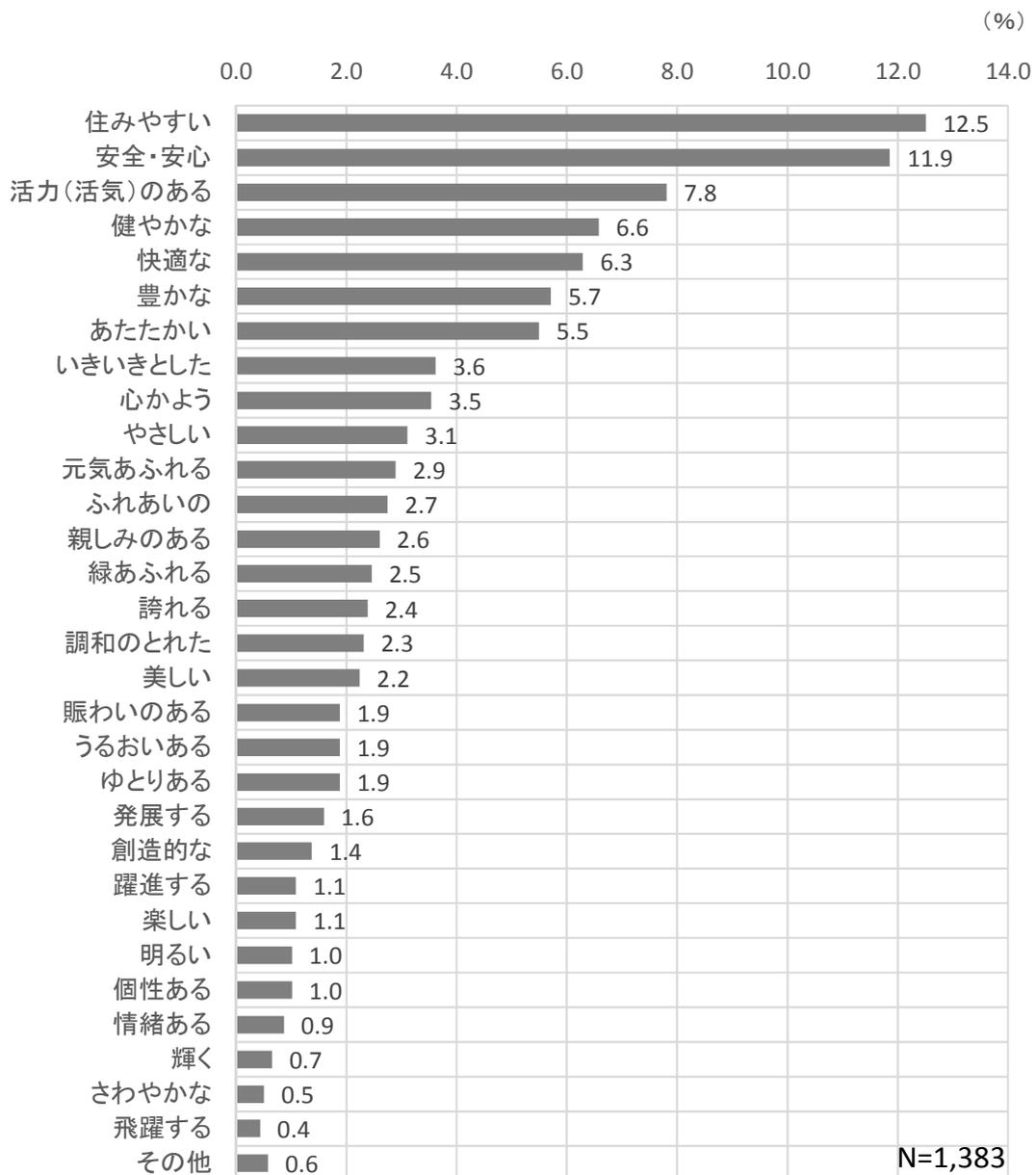
問 将来都市像にふさわしい「キーワード」として、お考えに近いものを3つまで選んで、番号に○印を付けてください。

- 将来像にふさわしいキーワードは、「住みやすい」が39.2%と最も高く、次いで「安全・安心」の24.7%、「活力（活気）ある」の18.2%の順となっています。



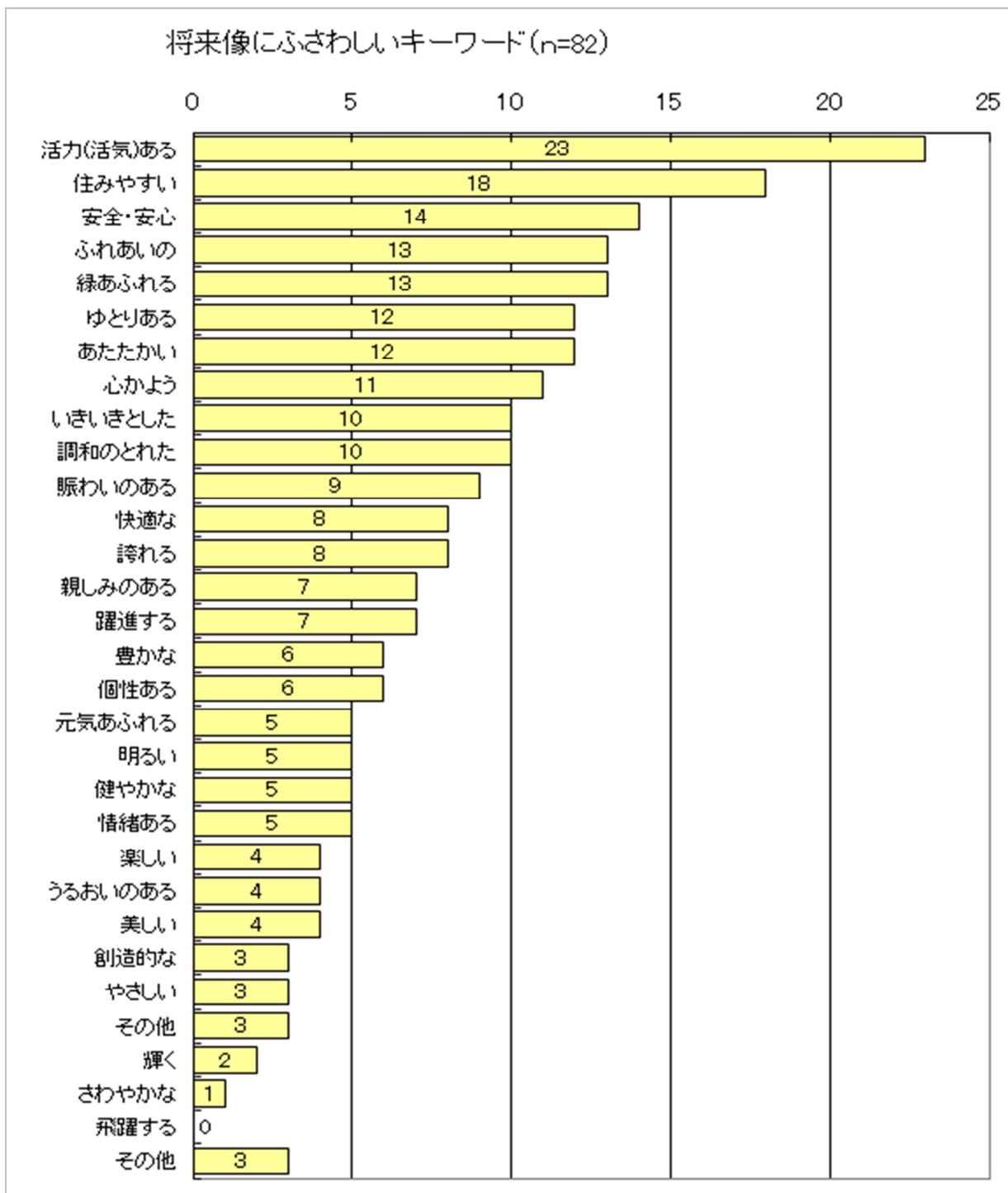
《鴨川市職員アンケート調査結果から抜粋》

- 「住みやすい」が12.5%で最も高くなっています。
- 次いで「安全・安心」が11.9%、「活力（活気）のある」が7.8%となっています。
- 「その他」としては、「学びのある」、「健全な」、「清々しい」、「過ごしやすい」、「信頼される」、「笑顔あふれる」、「成長ある」、「癒し」、「良識あふれる」、「ほのぼのする」、「艶やかな」、「和む」などが挙げられました。



《鴨川ふるさと会会員アンケート調査結果から抜粋》

- 将来像にふさわしいキーワードとしては、「活力(活気)ある」が 23 件と最も多く、次いで「住みやすい」の 18 件、「安全・安心」の 14 件の順となっています。



《鴨川市ウェブアンケート調査結果から抜粋》

- 鴨川市にふさわしいと思うキーワードとして、「豊かな」が28.1%と最も多く、次いで「緑あふれる」が24.3%、「あたたかい」が15.9%、「健やかな」が14.9%となっています。

